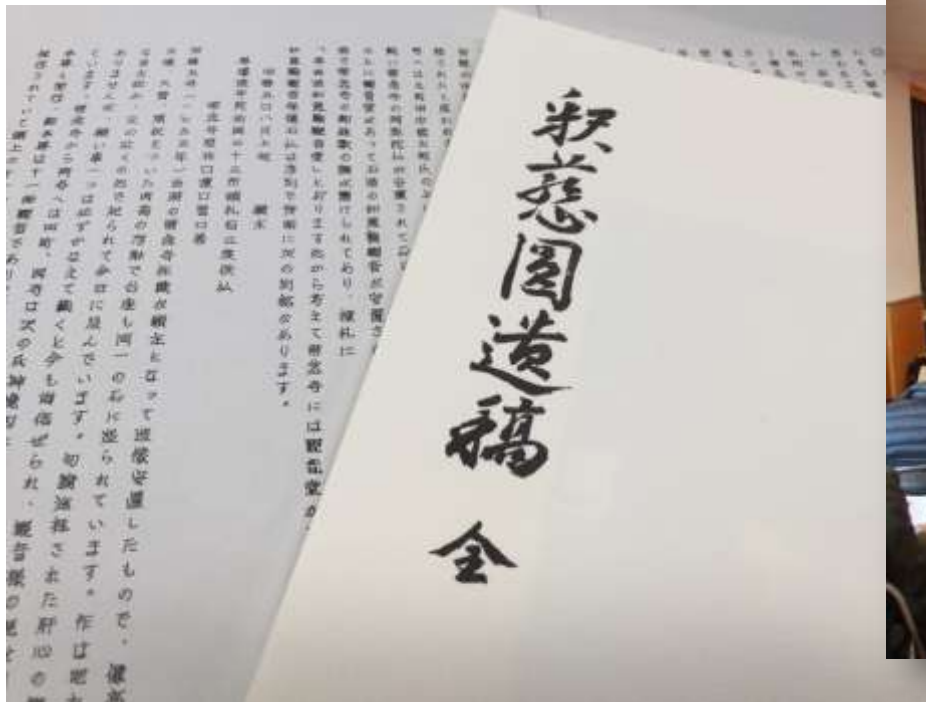


平成28年度 まちづくり協議会活動事例



宇陀市 まちづくり支援課

移住定住による地域づくり事業



伊那佐地区まち協【特別活動支援補助金：200千円】

地域の歴史書を復刻印刷し、地域内外の方を対象に勉強会を開催し、地域の魅力を発信するとともに、地域への来訪者の増加、空き家情報の発信、移住定住に繋げる取り組み。

移住定住による地域づくり事業



室生大野まち協【特別活動支援補助金：1,000千円】

市の施設を借り受け、地域住民を対象としたサロンを開設するとともに、観光に訪れた方へのおもてなしを実施する。

※open:月～金 10:00～15:00 メニュー：うどん、カレー、飲み物

移住定住による地域づくり事業



室生地区まち協【特別活動支援補助金：200千円】

地域の観光資源を活かし、まち協独自でツアーを開催。

田舎料理の調理体験及びわら細工作製により、新たな観光資源を創出するとともに、田舎暮らしを体験していただく。

移住定住による地域づくり事業



菟田野まち協【特別活動支援補助金：540千円】

菟田野魅力発見ツアーを年2回開催。

秋は、農作業体験、冬は林業体験により、市外から人を呼び込み、地域の魅力を体験していただく事業。

移住定住による地域づくり事業



内牧地域まち協【特別活動支援補助金:200千円】

カップリングパーティー開催により、市外から人を呼び込み、地域の魅力を体験していただく事業。

移住定住による地域づくり事業



大宇陀政始まち協【特別活動支援補助金：100千円】

従来から開催されていた桜のイベントに市内外から人を呼び込み地域をPRするとともに、空き家などの移住情報を発信する。

地域資源の活用による 特産品づくり事業



おおうだ南部地域まち協【特別活動支援補助金：700千円】

地域で栽培しているお米のブランド化を図る事業。美味しい米づくりに取り組み、統一した米袋を製作して直販所等での販売を行い、地域を売り込む。

地域資源の活用による 特産品づくり事業



大王地区まち協【まちづくり活動応援補助金:285千円】

地域の特産品として、米ぬかを使ったクッキーを開発。

若者部会を設置し、若い世代を中心として地域づくりに取り組んでいる。

まちづくりについて学ぶ機会づくり



菟田野まち協

まちづくりカフェ：地域で活動されている方をゲストに迎え、意見交換を行い、地元愛を育むとともに、将来のまちづくりについて意識を共有する。※「住みやすい理由は何ですか？」「住みにくい理由は何ですか？」「変えるとしたら何でしょうか？」という質問について参加者が2つの班に分かれて意見を出し、模造紙に貼り付けて発表を行うというワークショップを行った。

高齢化社会に備えて



東榛原まち協

認知症学習会：認知症について、保健師やNPO事業所の方から症状や予防について学ぶとともに地域の方の実体験を発表していただき、地域全体での見守りについて考えていただいた。また、ワンコインサービスについても、取り組みを検討中。

子どもは地域の宝



宇陀市の食材を利用して、子ども達にお弁当の開発をしてもらい、地産地消の大切さ、宇陀市の素晴らしさを知ってもらい、意見交換や共同作業の楽しさ、自分の思いを形にできる喜びとコミュニケーションの向上を目的とします。

子どもお弁当開発プロジェクト

参加費無料

第1回 9月18日(日) 9時~
場所 榎原総合センター
榎原地区公民館

第2回 10月16日(日) 9時~
場所 山口農園
宇陀市農業文化センター

第3回 11月26日(土) 9時~
場所 榎原総合センター
榎原地区公民館

第4回 1月21日(土) 9時~
場所 榎原総合センター
榎原地区公民館

●対象者 榎原小学校(小学生)11名
料理に興味のある親父!

●募集人数 11名

●講師 高井 繁美(宇陀フードコーディネーター・プロデュース・講師)

●申込み メールにて氏名、学年、性別、緊急時の連絡先(家族中に連絡がつく番号)を記入の上、お申し込み下さい。
※中心のみは、4回とも参加出来る方を優先します。各回ごとの申込みは出来ません。

●申込み受付期間 9月26日00時~10月14日23:00まで

●申込みメールアドレス: habara_machikumi@yehara.co.jp
※ご返信は、上記メールアドレスにて行いますので参加出来るように設定をお願いします。



榎原地区まちづくり協議会

榛原地区まち協

子どもお弁当教室：地産地消を学ぶため、畑の見学、調理の仕方などを計4回に分けて実施し、子どもたちで考えたお弁当を作る。